

丸山地区

食を生かした地域交流復活プロジェクト

神撃の食、降臨



【研究メンバー】

安藤 美南 伊藤 大羅 川中島 鈴音 佐々木 舞香
塩澤 春來 中 萌花 藤澤 心音 山村 珂乃
國松 秋穂(指導教員) 山口 真奈(丸山公民館主事)

【ご協力いただいた方々】

丸山公民館 館長 藤本 清明 様
まるやま石窯部 田中 秀明様 伊藤 晃様
中田 早苗様 岩戸 いづみ様
丸山公民館文化部 林 貴美子様 蜂谷 未緒様
丸山青少年健全育成部長 武井 玲子様
いずみの家 杉山様 パン工房 ゆめのや 後藤様

1. はじめに

私たちは丸山地区が食に関する行事が多いことに興味をもち、こうした行事に私たち（以下丸山班）も参加したいと思い丸山地区において研究を開始した。

2. 研究課題

丸山地区の調査を進めるなかで、丸山地区に住む方々、特に若者と地域の繋がりが薄まっていることを大きな課題と考えた。そこで、丸山班の好きな食を通しての交流を企画・実施することで、若者と地域の結びつきが強まるのではないかと考え、活動することにした。また、今年だけではなく来年以降も若者と地域が繋がっていく活動を目指す。

3. 研究経過

4月 丸山地区散策（フィールドワーク）	9月 ピザレシピ考案、試作
5月 館長さんからお話を聞く	10月 石窯部の皆さんと交流
6月 丸山保育園訪問	11月 丸山地区文化祭参加、ピザ作り体験
7月 桜姫祭でパン販売	12月 課題研究発表会、公民館大掃除
8月 寺子屋、人形劇フェスタ参加	1月 お正月遊び、餅つき大会

4. 研究内容

（1）丸山地区の調査

私たちの班には丸山地区について知っている人が少なかったため主事さんと館長さんから丸山地区の魅力や地域と若者の繋がり、絆が希薄化されていることなどの丸山地区の課題をお聞きした。そして、丸山地区についてより詳しく知るために実際に地区の中を探索して、地域の自然（風越山、虚空蔵山、風越山麓公園、風越子どもの森公園）、文化（郊戸八幡宮、村正、和泉守兼定）があり、それらを守るためにたくさんの活動が行われていて、地域の方たちみんなが丸山地区を大切にしていることが分かった。また、探索の中で丸山保育園との交流や公民館事業のボランティアに積極的に参加してきま

した。そんな中で私たちは丸山地区の「食」に着目し、活動をしようと考えた。

(2) 丸山地区の食に関わる活動（桜姫祭）

丸山地区の食について調査をしていく中で、丸山地区には「今宮半平」やパン屋さんが2つあること、そして丸山公民館に地域の方の手作りの石窯があることを知った。桜姫祭では、丸山地区にあるパン屋さんの1日目は「ゆめのや」さん、2日目は「いずみの家」さんのパンを販売することに決めた。そこで、それぞれのパン屋さんに協力していただくために販売交渉に行き、どちらのパン屋さんにも快く引き受けてくださった。桜姫祭当日、どちらのパン屋さんのパンも完売させることができ、無事に桜姫祭を終えることができた。

(3) 公民館事業の活動（寺子屋、人形劇フェスタ）

夏休みに入り丸山公民館で行われた人形劇フェスタ、夏の寺子屋に参加した。人形劇フェスタではアナウンスをしたり、アンケート配布や観客誘導を行った。

夏の寺子屋では、小学生の夏休みの宿題のお手伝い、ホットドック作りやレクレーションなどで一緒に遊びました。その結果、丸山地区の方とくに小学生との繋がりが強まった。

(4) 丸山地区の食に関わる活動（丸山地区文化祭）

イベントで食を通して丸山地区の地域の方と交流したいと思い、丸山地区文化祭への参加を決めた。そこで丸山地区で活動している石窯部や青少年健全育成部の方々に協力をお願いしてピザ作り体験を実施することになった。

その際、石窯部の方々が石窯を使った新レシピを考えてることをお聞きしたので、自分たちのオリジナリティを出した「おいでカレーピザ」を開発し、当日は「スタンダードピザ」とあわせて二種類のピザづくり体験を実施して来てくださった地域の方と一緒にすることで交流を深めることができた。また、その際夏の寺子屋や丸山保育園で交流した子供たちが親子一緒に来るなどこれまでの活動で関わりがあった方たちとの交流がより深められることができた。

5. 考察

丸山地区の課題として出てきた若者と地域のつながりが薄くなっていることに、「食」に着目して若者と地域の方との絆を繋ぎなおすことを目標に活動をしてきました。食を通じて地域の方々と交流をするために、丸山地区文化祭で石窯部や青少年健全育成部と協力してピザづくり体験を実施しました。当日は老若男女問わずたくさんの方が来てくださり、多くの方が楽しんでピザを作っていました。当初予定していたピザの枚数は、2日間とも完売することができ、この活動を通じて食は人と人との結び付きを強める事ができることを学び、食は人類共通であるという大きな発見がありました。

6. 今後の課題

今年は、丸山地区のたくさんの方と交流することができたが、丸山保育園の本校訪問の実現や、私たちが開発した「ドルチェ・ペーラ」（梨を使ったデザートピザ）を実際にイベントで販売することなど、できなかったこともあった。この一年間の活動の中でわかったことは、若者と地域を結びつけるためには、私たちが公民館事業に積極的に参加することが大切だということです。来年丸山地区で活動する班は公民館事業に積極的に参加してほしいことと、私たちができなかった「ドルチェ・ペーラ」を活用した活動をぜひ実施してほしいです。

7. 終わりに

このグループは常に明るく元気で、どんなことも楽しんで活動を行うことができた。また、食は人と人との結びつきを強め、食を通して地域の方々と交流することができた。

私達丸山地区の活動は私達だけで進められたわけではありません。活動開始当初はなにをすればいいのかわからず不安も多くあった私達でしたが、國松先生、公民館館長藤本さん、主事の山口さんを初め地域の皆さんのご協力のおかげで私達は活動を進めることができた。本当にありがとうございました。